



いぎまもる 井木 守 議員

### 笠岡市民病院の 存続について

**議員** 厚生労働省が再編統合の議論を促すとして、発表した424の公立・公的病院に笠岡市立市民病院が含まれていたが、市としてどのように受けとめているのか。

**市長** 厚労省が用いた基準には疑問があるが、地域医療に関して地域の議論をする点では真摯に受けとめている。市民病院は厳しい経営状況が続いているが、統合や廃止は考えていない。市民病院建て替え計画の中で、ダウンサイジング、近隣病院との機能分担、病院や診療所との連携強化を議論し、地域医療を守る市民病院にしたいと考えている。

**議員** 共産党が独自に取り組んだアンケートでも、市民病院の存続を求める声が多数だ。今後どのよ



うに市民の声を聴きながら、建て替えを進めるのか。

**病院管理局長** パブリックコメントを行う。直接市民からの声を聞くことも、患者を含めた形でどうするか今後検討したい。その際は、こういう病院の構想があるということを示した上で意見を聞きたいと考えている。

### 教員への1年単位の变形 労働時間制導入について

**議員** 教員への1年単位の变形労働時間制導入について、市教育委員会としてどう考えているか。

**教育長** 変形労働時間制のメリットとデメリットを踏まえて検討したい。教育予算の増額、教職員増員は喫緊の課題と認識している。教職員数の確保、増員を県教委に強く要望していく。



はらだ 原田てつよ 議員

### 障害者相談支援センターは、 どうなる？

**議員** 来年度以降の笠岡市の障害者相談支援センターと自立支援協議会についてたずねる。  
①場所と体制について  
②三障害の相談支援専門員の委託事業所について  
③相談支援センターと自立支援協議会の予算確保について

**市長** ①従来の場所で、相談支援を実施したい。  
②事業所は、継続して受諾していただいている。1事業所は、引き続き協議をしたいが、無理な場合は、業務に影響が出ないよう、当面市が対応の検討をする。

③相談支援センターや協議会の障がい者に対する従来の機能はもちろん、ひきこもりの方等への対応といった新たな機能も含め、必要な予算確保を図る。



### 日本遺産認定後の 取組みの進捗状況は？

**議員** 他の町との連携も含め、一番大切な相談を、当事者・家族が迷わないよう、方向性を早く出していただきたい。

**議員** ①六島の追加申請に向けての考えはについてたずねる。  
②日本遺産認定構成文化財について、学校の教材としての取り組みと今後の考えについてたずねる。

**市長** ①六島の灯台からの景観を含む大石山について追加できないか、文化庁と協議をしている。  
**教育長** ②日本遺産を、次の世代に伝えていくことは重要である。現在、総合的な学習で行っている。啓発資料の作成も検討したい。